

発刊にあたって

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」は、内閣官房及び農林水産省が、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るもので、今年度(令和5年度)で10回目となります。

中国四国農政局管内では161件の応募があり、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として7地区と2名が選定されました。

また、中国四国農政局では、応募のあった地区(者)の中から、他の地域の参考となるような優良な事例を、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として12地区と1名を選定するとともに、今後の活躍が期待できる事例を、「奨励賞」として23地区と1名を選定しました。

さらに、今回は「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」が平成26年から始まり、第10回を迎えた記念として、過去に選定された優良事例の中から、選定後に著しい発展性がみられ、全国の模範となる事例を募り、18地区と4名の応募がありました。

今年度、応募のあった地区(者)の事例について、その地域の「農山漁村(むら)の宝」として広く発信するとともに、身近な地域の取組として紹介するため、県別の事例集を作成しました。

各地域において参考にしていただき、農山漁村や農林漁業への関心を深めていただくきっかけになれば幸いです。

※「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の情報は、中国四国農政局のホームページをご覧ください。

URL: <http://www.maff.go.jp/chushi/nouson/kaseika/discover.html>

令和6年3月

中国四国農政局農村振興部都市農村交流課



目次

○ 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」全国選定 及び 中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」 の取組概要	1
○ 応募地区一覧	5
○ 応募地区位置図	6
○ 応募地区の取組事例	7

第10回ディスカバー農山漁村(むら)の宝 全国選定



島根県大田市

大田商工会議所

グランプリ

- ★漁獲高の大半が県外に出荷され、市内でほとんど消費されない大田市産あなごの大きさと美味しさに着目して、10年間で14%の人口減少が進む大田市の活性化を目指し、「大田の大あなご」の名称でブランド化に取り組む。
- ★大きくなるにつれて脂質が増え旨味成分が増していることをデジタル検証によって確認。観光DMOや飲食店等を巻き込んで協議会を形成し、料理コンテストの開催や出前授業を通じて大あなごの魅力を継続して発信。



行列ができる飲食店のあなご天井と漁業者

島根県大田市

笠木 真衣

優秀賞

- ★平成22年から羊毛加工の技術を学び、平成28年に創業。平成30年に島根県大田市に移住して、ヒツジの飼育を開始。飼養のノウハウを蓄積しながら自家羊毛製品を開発。
- ★農地(5反)を取得し米を作り、羊のフンや敷藁を堆肥化して活用。生産した米は「ヒツジ米」として販売。羊の放牧による除草や、自治会と共同で毛刈イベントを開催。



糸紡ぎのようす

ヒツジの放牧風景

高知県大月町

大月町備長炭生産組合

優秀賞

特別賞

- ★地域に自然分布するウバメガシから備長炭を生産。貴重な資源であるウバメガシを将来に残すため、循環利用可能な山づくりや苗木づくり、植樹祭等の人と自然の共生社会づくりを実施。
- ★地元小中高生への森林環境教育の継続的な開催のほか、育成した苗木を町有林に植栽することで資源循環利用による持続的産業を実現。



植樹祭

小学校での「製炭学習」

広島県神石高原町

株式会社BINGO

特別賞

- ★有害駆除される猪の9割が埋却されるなど、捕獲後の処理が課題となっていた地域で2箇所の処理施設を新設。止め差し・搬出・行政への報奨金申請まで一貫して対応し高齢狩猟者の負担軽減、若手狩猟者の獲得及び命を有効活用する取組。
- ★個体判別により食肉用とペットフード用に分けることで顧客満足度を向上させ、地域のジビエ肉のブランド化やペットフードの輸出も視野に入れるなど活動を拡大。



処理された猪肉

ペットフード
プロモーション活動

愛媛県伊方町

朝日共販株式会社

特別賞

- ★フェリー乗客の集客やイベント開催で、地元の一次産品を発信する地域活性化活動、大学生と共同し、しらすを有効活用した新商品開発の他、輸出拡大に向けた取組を実施。
- ★バイオプラスチックトレーへの切替えや地元漁協・ダイビングスクールと連携した藻場礁の設置実験等の環境保全活動、子どもたちへの食育活動を実施。



しらす漁

藻場礁設置

高知県黒潮町

特定非営利活動法人
NPO砂浜美術館

特別賞

- ★4kmの砂浜を美術館に見立て、四季折々のアートイベントを開催。町外からの運営ボランティアの宿泊と食事は、中山間地域にある集落活動センターと連携し、地元住民と交流。
- ★砂浜に隣接したスポーツ施設を活用して合宿や大会を開催し、宿泊・弁当等を手配。また、南海トラフ巨大地震の津波予測をきっかけに防災学習プログラムを開発し、主に中高生の教育旅行を受け入れを実施。



Tシャツアート展

海の脅威と恵みを学ぶ
防災学習プログラム

岡山県玉野市
富永 邦彦

- ★ECサイトやSNSを活用して消費者から事前に注文を受けて、必要な魚だけを得る国内初の「完全受注漁」を実施。
- ★水産資源の乱獲、価格の不安定性、漁師の過労問題、後継者不足問題といった、現在の漁業の課題解消に取り組む。



国内初の「完全受注漁」に取り組む富永夫妻



鮮魚セットを作っている様子

広島県三原市
株式会社八天堂ファーム(八天堂ぶどう園)

- ★オーナー不在のぶどう園を、リカレント教育受講を通じて関係構築した社会福祉法人と共に引き継ぎ運営。農福連携で生産した果実を加工し付加価値をつけて販売することで収益性を高めるとともに、サステナブルな商工農福連携活動を実施。
- ★収穫したぶどうの規格外品をジャム加工しパンを販売する他、農福連携事業者から苺を調達して新たなブランド化を行うなどの取組も実施。



オーナー不在の竹原市のぶどう園を再生 令和5年 新ブランド「果実なくリーむパン」

広島県三原市
広島みはらプリンプロジェクト実行委員会

- ★地域の海・山・里の豊富な食材を一つの取組に巻き込むコンテンツとして「プリン」に着目。「デザート」と「デリカ(惣菜)」の2カテゴリーのプリンを活用した官民連携のまちおこしを実施。
- ★1次生産者等の所得向上や地域内消費の拡大、食の付加価値向上に向けて、広島みはらプリンの認定や催事への出店、販路開拓等を実施。



各催事では約15~20種のプリンを販売



ガイドブック「おでかけプリン」

中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定



鳥取県境港市
さかいみなと中野港漁村市実行委員会

- ★沿岸漁業者(小型底曳網)が中心となり鮮魚を直売。平成25年から令和4年までの間、漁村市を28回開催。現在は年4回毎回1500人前後が来場。消費者と直接言葉を交わして魚の特徴、調理方法を伝え、効果的に魚食を普及。仲買と連携し、ふるさと納税返礼品としても提供。
- ★地元高校が市を課題研究の場とし、市の運営に協力。地元水産関係企業へ就職する生徒も。園児には売り場見学やタッチングプール等の食育も実施。



大盛況の中野港漁村市



高校生が未就学児に境港サーモンを見せる

島根県安来市
シバザクラの会

- ★永田集落農地・水保全管理活動組織を中心に行ってきた棚田のシバザクラ植栽活動、農村景観による都市との交流の広域展開、更なる地域活性化のため令和4年度設立。シバザクラ9万本、花桃500本を植栽。
- ★春に「猿隠高原シバザクラ祭り」を開催。SNS等で積極的な情報発信を行い4年度は約4,000人来場。関係人口増と地域活性化に効果。



各スポットにシバザクラ花絨毯と花桃が満開に



「シバザクラの里猿隠高原比田米®」販売中!

岡山県備前市
一般社団法人みんなでびぜん

- ★日生町にて漁協、小中高生、消費者等が協力しアマモ場を再生。アマモ場や再生活動を海洋教育の土台とし、地域内外の学校や市民、様々な業種の人々が地域や世代、立場を超え共に取り組む。
- ★海洋プラチックごみも、子どもたちと拾い、どこから流されてくるか一緒に考え、ごみを使ったアート作品を作る。令和4年度の海洋教育と体験の参加者数は2,532人。



アマモ流れ藻回収



小学生による海ゴミの回収

広島県尾道市

カンキツスタンドオレンジ

- ★様々な柑橘が生産されている瀬戸田地区が抱える、生産者の高齢化、柑橘加工品の販売先確保等の課題解決の取組。
- ★地元の株式会社Stapleが令和4年7月から瀬戸田の柑橘を専門に扱うジューススタンドをJR尾道駅1階に開業。農家と直接取引を行い現在23種類の柑橘ジュースを販売。令和4年度売上は10,800千円。
- ★取引生産者は3軒から10軒まで増加。店舗販売以外に広島市内や都内でのイベントに積極的に出店し、瀬戸田の柑橘をPR。



店舗で販売をしているジュース・かき氷



瀬戸田の柑橘農家と共同開催したジュースの試飲会

山口県岩国市

株式会社神東ファーム

- ★平成30年、神東地域振興協議会が地域おこし協力隊員とレモン栽培を構想中「後発組は希少価値の高い新品目で勝負」とマイヤーレモンを選択。
- ★栽培方法を習得後、同協議会の部会「レモンの会」を発足し、借り受けた耕作放棄地を開墾。行政の支援で(株)神東ファームを設立。
- ★地元銀行等の支援を受け、地元大手スーパーや老舗旅館など県内販路が定着。果汁100%の「そのまんまのマイヤーレモン」も今年から販売し千数百本が完売。令和4年度の収穫量は7t、売上は3,400千円。



11月頃のマイヤーレモン



小学生の農業学習

徳島県 三好市 美馬市 美馬郡つるぎ町 三好郡東みよし町

一般社団法人 そらの郷

- ★世界農業遺産認定「にし阿波の傾斜地農耕システム」による農山村のサステナブルな暮らしを体験する観光で、観光客増による所得向上、新たな雇用創出等地域活性化に取り組む。
- ★体験型教育旅行として、都市部中学生・高校生の受入家庭での農作業体験、収穫物の共同調理など農泊体験を商品化。
- ★農山村散策や農家での餅つきなどを組み込んだツアーによるインバウンド誘致が、「桃源郷」と称される農山村の風景や文化、地元農業者等のホスピタリティの面で高く評価されている。



伝統的な農作業ツチアゲ体験



地元農家との交流(餅つき体験)

徳島県鳴門市

株式会社本家松浦酒造場

- ★酒造会社が県内の様々な関係者と連携して行う取組。
- ★平成元年から原料を全て徳島県産にした日本酒の製造や平成24年から徳島県上勝町の棚田米を使用した日本酒、ゆこう使用のリキュールの製造の取組を通じ、生産者と連携。近隣の醤油蔵と連携した見学会を実施。令和4年度は直売所来場者15,876人、売上は26,000千円。輸出にも取り組む。
- ★大阪国際万博等のインバウンド需要を見据え、YouTubeなどで酒蔵地域周辺を案内する多言語化動画の配信やHPを作成。



酒蔵でのイベント開催



棚田米やゆこうを使った酒造り

香川県さぬき市 一般社団法人さぬき市津田地区
まちづくり協議会

- ★津田地区の海辺を中心としたエリアリノベーションと農泊の推進。
- ★使わなくなった漁業倉庫や空き家への新規出店希望者の誘致、移住者支援を実施。令和4年に市と連携し地域おこし協力隊制度を活用した新規出店(ピザ店)をきっかけに出店増加。応募時点で4店が開店し今後も開店予定。
- ★地域おこし協力隊募集の際、採用者以外の応募者も協議会等がサポートし、家族を含む9名が市内に移住。



PORTO PIZZA



空き家DIYの様子

愛媛県西条市

愛媛県立丹原高等学校 草花班

- ★地域を花木の一大産地とするため産官学民が連携し、苗の生産技術を確認する取組で、苗生産が不安定な品目の穂木～発根～出荷のプロセス構築の研究を同校が担当。
- ★同校の菊栽培技術を応用し平均19%の発根率が62%と有効性を確認。挿し穂の直径や挿し木時期による違い、地元JAと連携した生育環境での違いも調査。農家に還元可能な技術として成果は県東予地方局の「花木栽培マニュアル」に掲載され普及。地域では花木を主とした新規就農者も誕生。そのほか花木のPR活動も実施。



花木のPR活動



産官学民連携プロジェクト成果発表

愛媛県宇和島市

企業組合津島あぐり工房「あすも」

- ★平成15年創業。地域の豊かな農水産物の加工品・惣菜など製造販売。地域農産物の需要拡大と、地域経済活性化による成長持続型活動を展開。
- ★平成24年「企業組合津島あぐり工房」として法人化。農家レストラン「あすも」をオープン。令和4年度の売上は42,000千円。スタッフが創業当初の4人から9人に増え、令和4年から廃校活用の新店舗に移転。
- ★平成30年西日本豪雨災害の教訓で始めた月一回の「ふれあいモーニング」は1日100人以上が来店。地域コミュニティの場に。



人と食、人と地域、食と地域をつなぐ活動一覧



廃校教室を活用した農家レストラン部門「あすも」

高知県香南市

井上ワイナリー株式会社

- ★高知の気候・風土に適したブドウ品種を選び、県内各地の生産者と一緒に栽培。県内各地の様々な料理と合うワインを醸造し高知の新しい食文化を提唱。
- ★平成24年に南国市で定植以来、栽培を5市町に拡大。耕作放棄地も再生。地元の老人クラブや高校生に収穫やラベル作りの手伝いを依頼。
- ★令和3年に自社醸造を開始、令和4年にショップを併設。ワインの試飲・販売、地域食材使用のグロスリー商品等販売。売上は令和4年度61,822千円。



地域の方々と共に収穫作業



地元高知産ブドウを使用したワイン

高知県津野町

農村交流施設「森の巣箱」運営委員会

- ★住民の声をきっかけに、廃校となった旧小・中学校の校舎を活用し平成15年に設立した「森の巣箱」は、集落コンビニ、居酒屋、宿泊施設を備えた複合交流施設。
- ★安定経営のため、運営費用は各世帯の出資金、世帯毎に毎月「購買協定」を締結。宿泊施設で得た外貨も活用した、補助金に頼らない運営。施設職員(常勤1名、パート1名)以外住民も役割分担。
- ★イベント開催や修学旅行生受入も実施。令和4年度の売上は、コンビニ1,636千円、居酒屋1,282千円、宿泊施設3,039千円。



集落コンビニ



居酒屋

徳島県阿波市

寺井 稔

- ★平成24年に発足した阿波市の農業後継者グループ「GOTTSO阿波」の中心メンバーとして活動。
- ★農業や野菜の魅力発信、所得向上や農業人口増加を目指した活動、野菜の出張販売や広報を行い、地域のナスをブランド化。ナス好きの子供を増やそうと地元幼稚園や小学校で食育実施。
- ★グローバルGAP等を取得し2020東京オリ・パラの選手村へブランドナスを納品。それをきっかけに輸出、新たなブランド野菜育成に努める。



コロナ禍が明け試食販売を再開



食育の授業

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第10回選定) 応募地区(者) 一覧 (山口県)

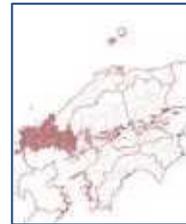
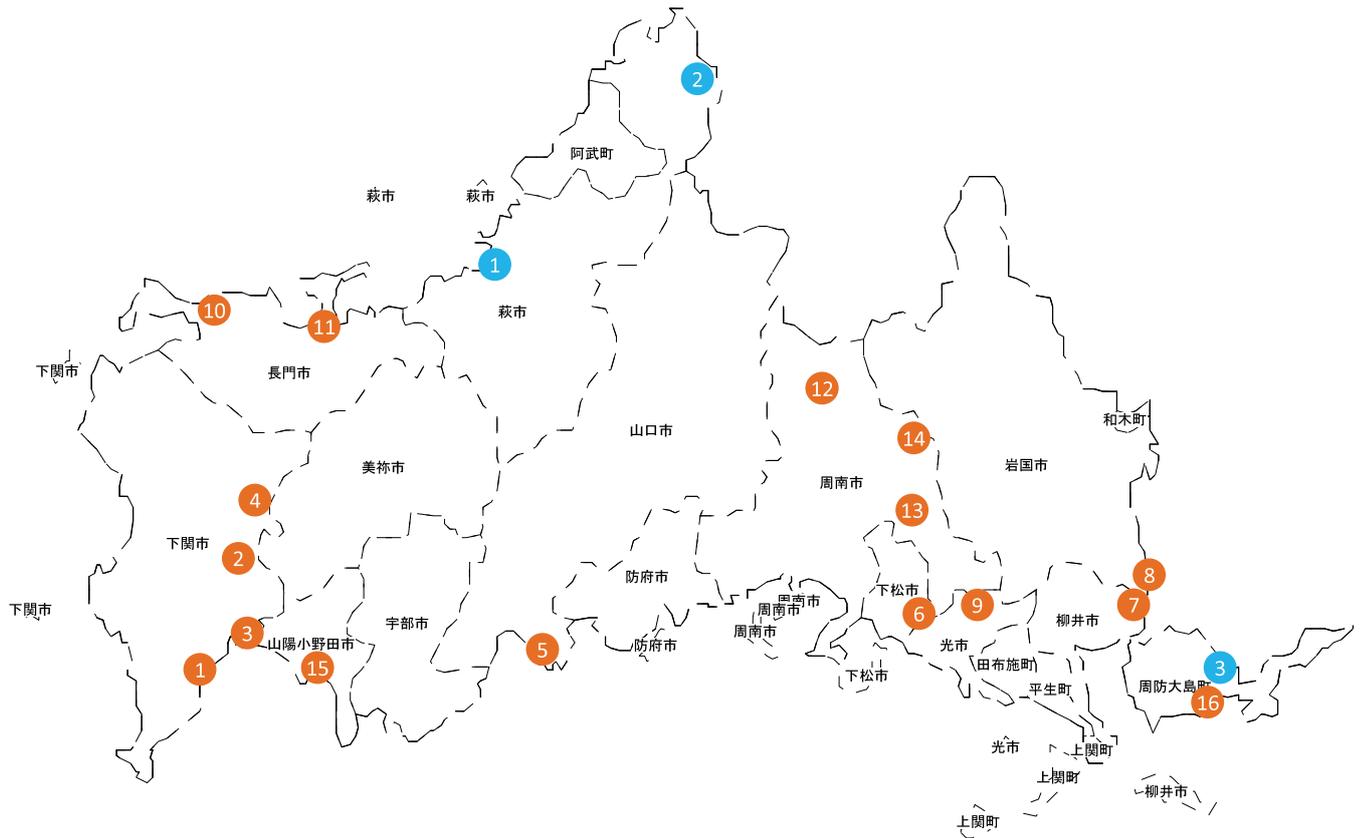
No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取り組み		
①	奨励賞	団体	下関市	王司干潟改良グループ	水産業振興	環境保全	食育・教育
②		団体	下関市	上保木集落協定	鳥獣被害防止	農村環境	景観保全
③		団体	下関市	JA王喜タケノコ部会	林業 農村文化体験	地産地消	食育・教育
④	奨励賞	団体	下関市	下関市豊田地域広域協定運営委員会	農村環境	環境保全	—
⑤		団体	山口市	株式会社木原製作所	6次産業化	企業との連携	教育機関との連携
⑥		団体	下松市	農事組合法人 21世紀フラワーファーム	6次産業化	食育・教育	女性の活躍
⑦		団体	岩国市	株式会社 神東ファーム	荒廃農地対策	環境保全	教育機関との連携
⑧		団体	岩国市	株式会社 デナリファーム	農業	農福連携	荒廃農地対策
⑨		団体	光市	農事組合法人つかり	6次産業化	企業との連携	地域との連携
⑩		団体	長門市	特定非営利活動法人 ゆや棚田景観保存会	6次産業化	棚田保全	農村環境・ 景観保全
⑪	奨励賞	団体	長門市	三隅林業研究グループ × 長門やきとり横丁連絡協議会	里山再生	森林再生	農商連携
⑫	奨励賞	団体	周南市	株式会社 かの高原開発	6次産業化	伝統の継承	雇用
⑬		団体	周南市	棚田清流の会	棚田保全	農村文化体験	関係人口の創出
⑭		団体	周南市	有限会社福田フルーツパーク	6次産業化	食育・教育	農村環境・ 景観保全
⑮	奨励賞	個人	山陽小野田市	伊藤 徹一郎 (株式会社アグリーフプラス 代表取締役)	6次産業化	地産地消	環境保全
⑯	奨励賞	団体	周防大島町	山口県立 周防大島高等学校	学生・若者の活躍	環境保全	企業との連携

第10回記念賞応募地区

No.	部門	市町村	地区名	過去の選定実績
①	団体	萩市	ふるさと萩食品協同組合	平成26年度(第1回)選定
②	団体	萩市	社会福祉法人E.G.F	平成27年度(第2回)選定 (プロデュース賞)
③	団体	周防大島町	株式会社瀬戸内ジャムズガーデン	平成30年度(第5回)選定

応募地区（者）位置図（山口県）

※ 青は第10回記念賞応募地区



奨励賞

おおじひがたかいりょう

王司干潟改良グループ

～地域と共に歩む！～



干潟の復興作業 竹立て



地元小学校でツメタ貝について授業

経緯

- 千鳥浜(ちどりはま)は、全国でも有数(山口県最大)の干潟である。江戸時代には塩田、昭和の中ごろまでは海苔の生産で繁栄していた。海や干潟という「宝」を子や孫に引き継ぎたいと、誰もが望んでいた。
- 平成21年(2009年)、運営委員長の呼びかけで干潟の復興を目指して干潟改良グループが結成され、活動を開始した。

取組内容

- 王司干潟の復興作業
 - ・アサリの放流
 - ・稚貝等の付着のための竹立て
- 地元小学校との連携
 - ・全校児童参加の海浜学習への協力
 - ・5年生の総合的な学習で
出前授業や現地でのツメタ貝の駆除
- 乃木浜公園の清掃活動
- SNSを活用した情報発信
 - ・「まちづくり」のために



「王司まちづくり」のFacebook

活動の効果

- アサリ等がほとんど獲れなくなった現在、一昔前のような魚介類がたくさん獲れる干潟に復興しようとアサリの放流や干潟への竹立て等の活動している。
- 小学校との連携をすすめている。ツメタ貝の駆除は地元の小学校5年生の総合的な学習の題材となっている。この活動はメディアでもたびたび取り上げられている。

応募団体からのアピール・メッセージ

干潟の復興作業はもちろん、維新海峡ウォークや神田川まつりでの出店・婦人部の乃木浜総合公園の清掃活動を「まちづくり」のための取組としている。「海や干潟のよさ」を知らせるだけでなく、「まちのよさ」として捉えられるように今後も活動を継続していきたい。

住所・電話番号・SNS等

下関市王司本町6丁目2-28 Tel:083-248-0711

かみほぎしゅうらくきょうてい
上保木集落協定

～多様な農業経営体が連携して地域農業を守る～



作業前のミーティング



景観作物で植栽したコスモス周辺の草刈り

経緯

- 平成24年度に中山間地域等直接支制度の知事特認地域に追加されたことをきっかけに取組を開始した。
- 高齢化による農業者の減少が進む中、個人農業者の他、地域で営農する農業法人等、多様な農業経営体が協力し、集落機能の強化及び耕作放棄地の発生防止を図ることとした。

取組内容

- 農村環境・景観保全日本型直接支払（中山間・多面）を活用し、地域内の農道や水路の保全活動をはじめ、コスモスの植え付け等地域の景観向上に取り組んでいる。
- 鳥獣被害防止
シカやイノシシ等による鳥獣被害多発地域のため、交付金を活用し防護柵の設置や箱わなによる捕獲等に取り組んでいる。

活動の効果

- 草刈や水路の管理、鳥獣被害対策等、農業者なら当たり前の取り組みであるが、地域で協力しながら継続をしてきた。高齢化等により個人での管理が難しくなった農地は、農業法人等の担い手が受け入れる等、耕作放棄地を発生させない活動に取り組めた。

応募団体からのアピール・メッセージ

農村地域の景観が保たれているのは、多面や中山間直払に取り組む全国の活動組織・協定の日々の地道な活動の結果だ。農村地域に訪れた際は、美しい風景の背後には頑張る人たちがいることを少しでも思い出していただけると幸いである。

住所・電話番号・SNS等

下関市菊川町大字下岡枝1480-1 Tel:083-287-4008(下関市菊川総合支所建設農林課)